

環境に係る情報協議会

国営かんがい排水事業 篠津運河上流地区

1. 環境に対する考え方

《農村環境の現状と課題》（各町村「田園環境整備マスタープラン」より）

【現状】

- 当別町 当別町の河川はすべて石狩川水系で、最終的に石狩川に流入し景観豊かな町である。
- 新篠津村 沼や三日月湖では小さな魚が確認されている。篠津運河や防風林沿いにはススキの草原が縦横に規則的に走っている。春になると沼を目指してコハクチョウやガンが渡ってくる。
- 月形町 月形町における河川の全てが石狩川水系であり、日本海に注がれる。山林原野が全面積の70%を超えている。

【課題】

- 当別町 地域住民のみならず、周辺地域からの外来者などの滞在とあわせた風土に根ざした個性的な環境づくりが課題となっている。
- 新篠津村 新篠津村は、まさに自然との調和そのもので成り立っており、将来にわたってこれを守っていくために、自然環境との調和、景観への配慮に重点を置いた施策を推進することが課題。
- 月形町 近隣市町村や都市住民の憩いの場となる公園の整備等が必要であり、地域の特性を生かした個性ある環境作りが課題である。

《環境保全の基本的考え方》（各町村「田園環境整備マスタープラン」より）

- 当別町 親水機能・景観性の整備促進や自然生態系や自然浄化力の維持に配慮した河川や農業用排水路の改修をめざす。
- 新篠津村 環境配慮と環境創造の視点を明確にし、農業生産の場が即ち環境創造の場でもあるといえるように貴重な環境資源との調和に特に留意する。
- 月形町 親水機能・景観性の整備促進や自然生態系・浄化力の維持に配慮した河川や農業用水路の整備をめざす。

2. 環境配慮計画の策定に向けた調査

《基本方針》

- 調査位置の考え方
本地区における整備対象施設（用水路）の多くは、道路や農地沿いに位置し、一部区間が防風林に隣接する。
このため、道路沿い並びに防風林沿いを整備ルートとする北13号導水路を地区の代表路線として調査を実施する。
- 調査項目の考え方
既往調査結果を活用するとともに、調査の行われていない項目について現地調査を実施する。

《環境調査内容》

- 調査項目 ①植物
- 調査方法 植 物：植物相調査